

## 京都・大原の農業を応援！生活造形学科の学生達が生産者や施設と連携し、「大原旬の恵み弁当」&「大原ふれあい朝市」紹介リーフレットが完成

学生達が弁当販売&リーフレット配布

【日時】2026年1月18日(日)・25日(日)・2月1日(日)・8日(日)6~9時

【場所】「里の駅 大原」構内 大原ふれあい朝市

京都女子大学（所在：京都市東山区/学長：竹安栄子）は、家政学部 生活造形学科 前崎信也ゼミの4年生4名が、京都・大原の農業の魅力を発信するため、大原朝市推進協議会と連携した「大原ふれあい朝市」の紹介リーフレット及び、大原の宿泊施設「はちかん」とコラボした「大原旬の恵み弁当」を制作しましたので、お知らせします。

学生達は、「里の駅 大原」で毎週日曜日に開催される「大原ふれあい朝市」にて、2026年1月18日(日)・25日(日)・2月1日(日)・8日(日)の4日間、お弁当販売とリーフレットの配布を行います。

### ■京都・大原の農業の魅力と、農業再生へ取り組んできた地域の人々の思いを伝えたい。



京都市左京区の北東部に位置する大原は、四方を山々に囲まれた盆地集落で、古くから農業と観光が調和した美しい景観が魅力です。

しかし1990年代後半には人口減少や耕作放棄地の増加など、景観の危機に瀕していました。地域の人々は、このような状況を改善するため、道路・水路の整備、耕作放棄地の再生、そして1999年から現在に続く「朝市」の開催に取り組みました。2006年以降になると、新規就農者が移住し後継者不足や景観維持の問題が改善されてきました。現在では特色のある多彩な農産物を栽培する新規就農者が増えましたが、伝統食材の継承者など解消されていない課題もあり

ります。

2024年春、「このような大原の農業再生とそれに取り組んできた人々の思いを広く伝えたい」と考えた宿泊施設「はちかん」の支配人から前崎ゼミへ相談が入り、2024年8月から学生との連携プロジェクトを開始。この度、学生達が「大原朝市推進協議会」と連携した「大原ふれあい朝市」紹介リーフレットおよび「はちかん」とコラボしたお弁当が完成しました。

### ■朝市の歴史や生産者の思いを、学生がインタビューした紹介リーフレットが完成。

リーフレットでは、「里の駅 大原」構内で毎週日曜日6~9時に行っている「大原ふれあい朝市」を紹介しています。朝市が始まった経緯や生産者の思いを伝えるため、大原朝市推進協議会 中辻孝行会長や朝市へ野菜や魚を出品されている新規就農生産者4名のインタビューを行いました。リーフレットは300部制作し、お弁当にセットするほか、里の駅の来場者へも配布します。



### ■大原の宿泊施設「はちかん」とコラボ。地元で採れた食材で「大原旬の恵み弁当」を共同開発、朝市にて販売。



大原九条ネギご飯、大原野菜炊き合わせ、粟麩蒲焼、百合根の金団などが入った「大原旬の恵み弁当」（800円税込）は、大原産の冬の食材をふんだんに使った栄養たっぷりの目にも鮮やかなお弁当です。学生達のアイデアを取り入れて「はちかん」の専属出張料理人が腕を振るい、弁当の容器の選定や、弁当のパッケージやPOPのデザインなども学生達が担当しました。

### 【報道関係のお問い合わせ先】

京都女子大学広報デスク（プランニング・ボート内）福嶋・井上 TEL：06-4391-7156

京都女子大学 入試広報課 岡橋・竹縄 TEL：075-531-7054

京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>

# 概要

## ■弁当販売、リーフレット配布について

- ・日時：2026年1月18日（日）、25日（日）、2月1日（日）、8日（日）  
各日6時～9時  
※生活造形学科 前崎ゼミ4年生4名が販売・配布に参加予定です。
- ・場所：「里の駅 大原」構内（住所：京都市左京区大原野村町1012）  
・京都市バス「野村別れ」下車すぐ

## ■「大原ふれあい朝市」リーフレット配布

- ・部数：300部（縦210mm x 横396mm/ 観音折）
- ・制作：京都女子大学 家政学部 生活造形学科 前崎信也ゼミ4年生2名  
※監修：京都女子大学 家政学部 生活造形学科 教授 前崎信也
- ・協力：大原朝市推進協議会



## ■「大原旬の恵み弁当」

- ・メニュー：大原九条ネギご飯、鶏照り焼き、大原野菜炊き合わせ、大原卵出汁巻、粟麩蒲焼、百合根の金団、鯖味噌煮  
※内容は仕入れ状況によって変更になる場合があります。
- ・価格：800円（税込）※1日20食販売（予定）
- ・制作・販売：はちかん（運営：日本リート株式会社） <https://hachikan.jp/>  
京都女子大学 家政学部 生活造形学科 前崎信也ゼミ4年生2名



※完成イメージ（上）、  
弁当のパッケージとなる帯2種（右）



## ●学生のコメント

### 【リーフレット担当】

#### ・家政学部 生活造形学科 4年 白井 結梨（しらい ゆり）

プロジェクトを通して、初めて大原とふれあい朝市に関わり、何回か現地に訪れることで地域の方の優しさや温かさを感じました。私たちが作ったパンフレットを見て皆さんの人柄が伝わったと思います。ぜひ一度、朝市に来てその雰囲気や野菜のおいしさを感じて欲しいと思います。

#### ・家政学部 生活造形学科 4年 橋本 奈々夏（はしもと ななか）

今回の活動を通して、大原の歴史や農業と観光の関わりを知ることが出来ました。ぜひ大原に来て、朝市に足を運んで、農業と観光が密接に関わっていることにも注目していただきたいと思います。

### 【弁当担当】

#### ・家政学部 生活造形学科 4年 小笠原 玲奈（おがさわら れいな）

今まで大原という場所にあまり関わったことがなかったので、ゼロからの大原という地域を知るところから始めて、実施に地域の人々と関わってお弁当を作り一緒に販売もします。私自身学ぶことも多くて、楽しみながら取り組んでいるので、その楽しさも伝えられたらと思います。

#### ・家政学部 生活造形学科 4年 高尾 百加（たかお ももか）

お弁当企画に取り組む中で、大原の様々な観光地を知れたこと、「はちかん」と地域の方の大原に対する思いを知ることが出来ました。私達がコラボすることによって、「はちかん」と大原のつながりが、もっと今後もより深く根付いていったらいいなと思っています。

## ●「はちかん」担当者のコメント

株式会社日本リート ホテル&SPA 運営本部 セールス&マーケティング室 室長 津山明久

### 【コラボの感想】

今回のコラボレーションを通して、学生のみなさんが地域に丁寧に入り込み、そこから生まれる気づきを形にしていく姿勢に深い刺激を受けました。大原朝市という生活の場実際に足を運び、人や風景と直接関わる中で、地域が持つ本質的な魅力や課題を、外からの新鮮な視点で照らしてくれたように感じます。

私たちにとっても、地域との関わりを見つめ直し、その価値を再認識する貴重な機会となりました。外部の視点が入ることで、地域がより豊かに呼吸し始める…そんな瞬間に立ち会えたことを嬉しく思います。

### 【完成したお弁当やリーフレットの期待】

学生のみなさんが制作されるリーフレットや、お弁当と掛け紙が実際に訪れる方々の手に渡ること、大原の魅力がより自然に、温度をもって伝わるのではないかと期待しています。手に取った瞬間の小さな驚きや発見が、その先の散策や交流へとつながり、地域との関わりが深まっていく循環が生まれることを願っています。今回の取り組みが、大原を訪れる人と地域との新しい接点となることを楽しみにしています。